

# 漁海況通信

長崎県総合水産試験場 漁業資源部 海洋資源科

〒851-2213 長崎市多以良町1551-4 電話 095-850-6304 FAX 095-850-6346

ホームページアドレス <https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>

## 五島海区におけるキビナゴの資源評価

五島海区におけるキビナゴの資源水準は低位、動向は横ばいと判断されます

### I. 漁獲量の動向および資源評価

五島海区におけるキビナゴ漁獲量は近年 750 トン前後で推移していましたが、令和2年の漁獲量は 770 トンで前年(898トン)並み、平年(826トン)並みでした(前年比86%、平年比93%)。(図1)

五島標本漁協における令和2年のキビナゴ月別漁獲量は、1月、2月は平年より多く、3~5月、8~10月、12月は平年並み、11月は平年より少ない状況でした。(図2)

※ 過去5年間の平均値(平年)より20%以上上回った場合を「多い」、下回った場合を「少ない」、±20%以内を「平年並み」としました。

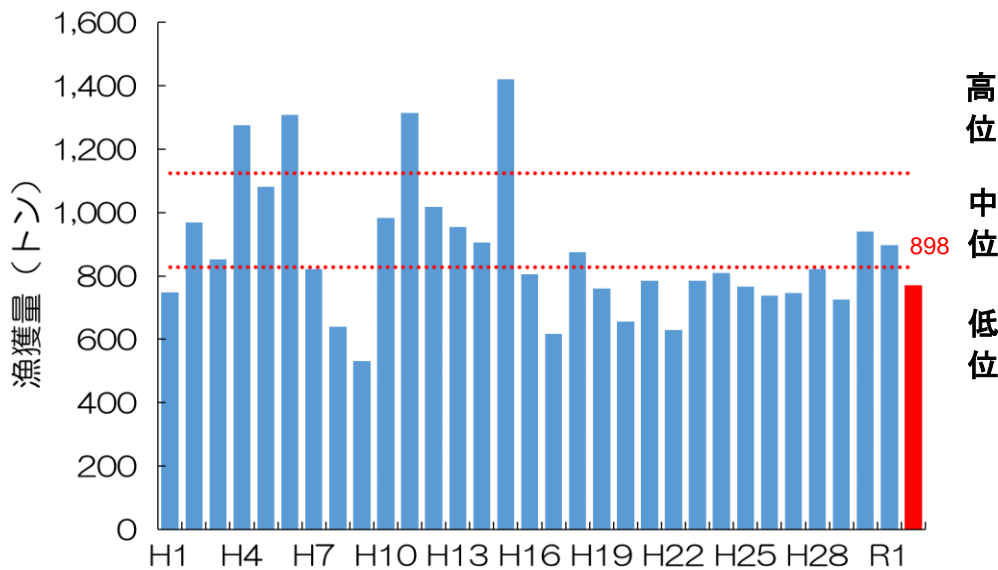


図1 五島海区におけるキビナゴの漁獲量  
(H18までは農林水産統計年報、それ以降は推定値)

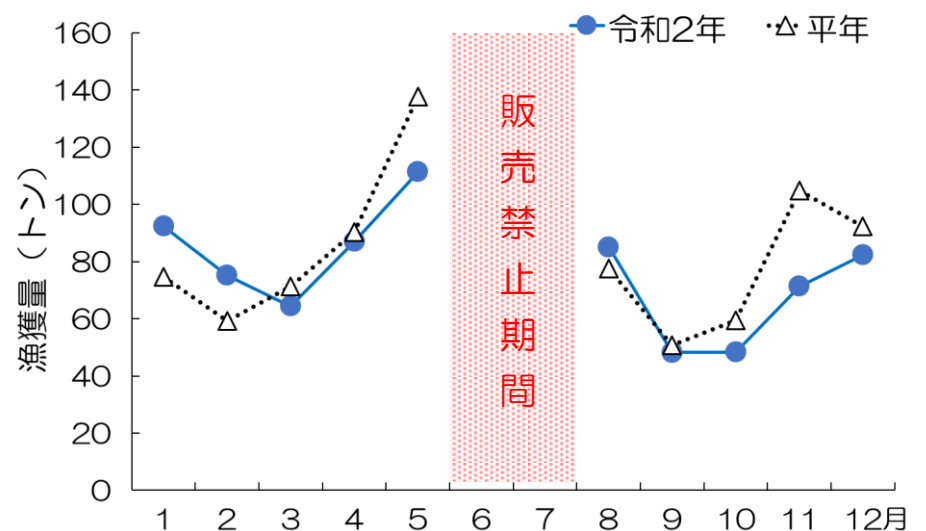


図2 五島標本漁協におけるキビナゴ月別漁獲量

五島海区におけるキビナゴ漁獲量から資源状況を評価すると、令和2年におけるキビナゴの資源水準は低位にあり、過去5年間の動向から横ばいと判断しました。(図1)

※ 資源水準：H2~R1の漁獲量の最大値と最小値の間を3分割し、828以下を低位、828~1,125を中位、1,125以上を高位としました。  
 ※ 資源動向：過去5年間の漁獲量の平均値より20%以上下回った場合を「少ない」、上回った場合を「多い」、中間を「横ばい」としました。

### II. 近年の産卵期の特徴

これまでの研究事例では、五島海区におけるキビナゴの産卵期は6~9月と考えられています。直近5ヶ年の産卵期を見ると、平成28、29年は6月~10月まで、平成30年~令和元年は7月~9月まで、令和2年は5月から成熟したキビナゴが確認される等、産卵期に若干の年変動が生じています。(図3)

生殖腺指数は、キビナゴの体重に対する卵巣・精巣の重さの割合を指標にしたものです。卵巣・精巣が発達したキビナゴが多い月に色をつけています。

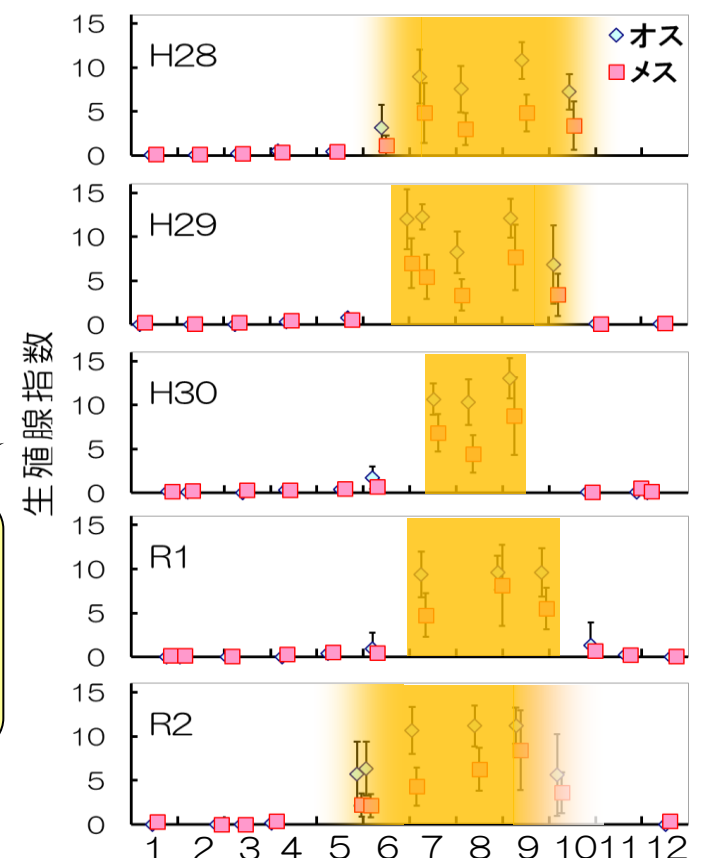


図3 生殖腺指数の月別の推移